



狂言

身近なことばで笑いをつくる芸能



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

狂言の世界	3～5
人物とことば	6～8
動きと見た目	9～11
演目の世界	12～15
今に伝わる狂言	16～19
深めよう	20～22
おさらい	23～26
ふり返り	27～30

狂言ってなに？

狂言がどんな芸能か、まず全体像をつかもう。

狂言（きょうげん）は、日常のことばと身近な出来事をもとにした、笑いの伝統芸能です。

大げさな身ぶりやこっけいなやりとりで、見る人を自然な笑いにさそいます。



狂言の特徴

日常のことば

身ぶり

笑い

むずかしい古語だけでなく、当時の話し言葉に近いせりふが使われます。

ポイント

- 能と同じ舞台で、能と組み合わせて上演されることが多いです。
- 2008年に、能とあわせてユネスコの無形文化遺産に登録されました。

やってみよう

1. 「笑いの芸能」と聞いて、どんな内容を想像しますか。

書いて覚えよう

能と狂言の関係

能と狂言が、どのような関係にあるのかを知ろう。

能と狂言は、どちらも室町時代に大成された芸能で、あわせて「能楽（のうがく）」とよばれます。

能が神や幽霊などをえがく重々しい物語であるのに対し、狂言は身近な人々の失敗や笑いをえがきます。



能

重々しく幻想的

面をつけることが多い

神・幽霊・武将などが主人公

謡でゆっくり進む

悲しみや祈りをえがく

狂言

軽やかで身近

面は少なめ

太郎冠者など庶民が主人公

話し言葉に近い

笑いや失敗をえがく

やってみよう

1. 能と狂言、それぞれの雰囲気の違いを自分の言葉で書こう。

書いて覚えよう

狂言の笑い

狂言の笑いには、どんな特徴があるのかを知ろう。

笑い

わらい

狂言の中心となる感情表現

こっけい

こっけい

おかしくて笑いをさそうこと

ポイント

- 失敗やごまかしが、最後にばれてしまう展開が多くあります。
- 登場人物を悪者にせず、温かい笑いで終わることが多いのも特徴です。

やってみよう

- 身近な人の、思わず笑ってしまった失敗談を1つ書こう。

ワンポイント 狂言の笑いは、人をばかにする笑いではなく、人間らしさを楽しむ笑いだといわれています。

書いて覚えよう

太郎冠者に用事を言いつける役

主人に仕える使用人。狂言の中心人物

詐欺師やうそつきの役

修行者。呪文を唱えて失敗することもある。

気の強い妻など、庶民の女性

こっけいに描かれることが多い武士

- 登場人物の多くは、名前ではなく役割の呼び名でよばれます。
- 身分の高い人がこっけいにえがかれるのも、狂言らしい特徴です。

1. この中で、演じてみたい役はどれですか。

「逃がさないぞ」という意味の決まり文句

登場人物が自己紹介するときの定番のせりふ

- 狂言では、室町時代に話されていたことばに近い、生き生きとしたせりふが使われます。
- 決まり文句を覚えると、狂言をより楽しめます。

1. 「これはこのあたりの者でござる」を声に出して言ってみよう。

狂言ならではの、動きとしぐさの表現を知ろう。

笑う・泣く・怒るなどの感情も、大きな身ぶりでわかりやすく表現します。

- 「うれしい」ときは扇を広げて笑い、「泣く」ときは袖で目をおおうなど、決まった型があります。
- 小さなしぐさにも、意味がこめられています。

1. 扇や手ぬぐいがなくとも、「うれしい」「悲しい」を体全体で表現してみよう。

狂言で使われる面について知ろう。

きつねや蜂など、生き物を表す面もあります。



1. どうぶつの表情をまねて、狂言の面のような顔をつくってみよう。

素朴な柄

能の衣装に比べて、模様がシンプルで動きやすい衣装が多く使われます。

- 衣装の柄には、縞（しま）模様など身近なデザインが多く使われます。
- 動きが大きい狂言に合わせて、体を動かしやすい仕立てになっています。

1. 狂言の衣装の写真を見て、能の衣装とのちがいを比べてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 狂言 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

主人が「毒だ」と言ったものの正体を
めぐる話

両手を縛られた2人の使用人が酒盛りをする話

柿を盗み食いした山伏が鳥や猿のまね
をさせられる話

かたつむりをめぐる山伏とのやりとり

すっぱにだまされる人々の話

和歌が苦手な大名の失敗談

ポイント

- 狂言の演目は、200番以上が今も上演されているといわれています。
- タイトルには、登場する人や物の名前がそのまま使われることが多いです。

やってみよう

1. この中で、あらすじを読みたい演目を1つえらぼう。

書いて覚えよう

2人は主人の大切な掛け軸と茶碗をわざとこわし、「泣きながら食べて死のうとした」と言い訳をします。



- 最後にうそがばれてしまう展開は、狂言によく見られるパターンです。
- 子どもにも分かりやすい筋書きのため、狂言の入門作としてよく紹介されます。

やってみよう

1. 太郎冠者たちの言い訳を、自分の言葉で考えてみよう。

書いて覚えよう

棒縛りの話

代表的な演目「棒縛り」のあらすじを知ろう。

棒縛りのあらすじ

主人が留守中に酒を盗み飲みされないよう、2人の使用人の腕を棒にしばりつけて出かけます。
ところが2人は、しばられたまま工夫して、お互いに酒を飲ませ合ってしまいます。

ポイント

- 不自由な体でも工夫して楽しもうとする姿が、笑いを生みます。
- 2人の息の合った動きが、この演目の見どころです。

やってみよう

1. 両手を使わずに、何かをする工夫を考えてみよう。

書いて覚えよう

狂言の見方

狂言を見るときのポイントを知ろう。

ポイント

- せりふが分かりやすいので、初めてでも内容を追やすいのが狂言の魅力です。
- 登場人物の表情や動きに注目すると、笑いどころがを見つけやすくなります。
- 声を出して笑ってよい場面もあり、能より気軽に楽しめます。

やってみよう

1. 狂言の映像を見て、いちばん笑ったところを書いてみよう。

書いて覚えよう

狂言の家

狂言が、どのように受けつがれてきたのかを知ろう。

大蔵流

おおくらりゅう

狂言の代表的な流派の1つ

和泉流

いずみりゅう

狂言のもう1つの代表的な流派

ポイント

- 狂言は、代々家に伝わる芸として受けつがれてきました。
- 親から子へ、芸とともに役者としての心得も伝えられます。

やってみよう

1. 家族や地域で受けつがれている、伝統的な技や行事はありますか。

書いて覚えよう

今の狂言の広がりを知り、自分でも動きをまねしてみよう。

近年は、テレビや映画などで活やくする狂言師も増え、狂言に親しむ人が広がっています。学校向けの体験教室が開かれることもあります。

やってみよう

1. 「これはこのあたりの者でござる」を、自己紹介の形で言ってみよう。
2. うれしい・おこる・おどろくの3つの気持ちを、大きな身ぶりで表してみよう。

ポイント

- 狂言のせりふ回しは、演劇や表現の練習としても役立ちます。

書いて覚えよう

笑いの文化

狂言の笑いが、日本の笑いの文化とどうつながるかを知ろう。

狂言の笑いは、人の失敗やずるがしこさを温かく見つめる、日本の笑いの文化の1つです。

登場人物が最後まで悪者になりきらないところに、狂言らしいやさしさがあります。



ポイント

- だます側もだまされる側も、どこか憎めない人物としてえがかれます。
- この「笑いのやさしさ」は、落語など、ほかの笑いの芸能にも共通する部分があります。

やってみよう

1. あなたが好きな「笑える話」には、どんな共通点がありますか。

書いて覚えよう

狂言の魅力

狂言ならではの魅力について、考えを深めよう。

ポイント

- 身近なことばと動きで演じられるため、初めてでも親しみやすいのが狂言の魅力です。
- 失敗を笑いに変える発想は、今の私たちの生活にも通じるものがあります。
- 600年以上前から続く演目が、今も新しい観客を笑わせています。

やってみよう

1. 狂言の魅力を、友だちに一言で伝えるとしたら、どう言いますか。

書いて覚えよう

1. 狂言の面や衣装の写真を、図書館の本やインターネットでさがしてみよう。
2. 「附子」や「棒縛り」の舞台写真を見て、登場人物の表情を観察しよう。
3. できれば、狂言の公演や体験教室に行ってみよう。

- 写真からも、狂言らしい大げさな表情や動きが伝わってきます。
- 地域の伝統芸能館で、狂言の資料が見られることもあります。

書いて覚えよう

体験してみよう・由来と意味をおさらい

狂言を体で感じ、これまでの由来を振り返ろう。

やってみよう

1. 「これはこのあたりの者でござる」を、決まった調子で言ってみよう。
2. 扇を持つつもりで、大きく笑う・泣くしぐさをしてみよう。

由来をおさらい

狂言は、能と同じく室町時代に大成された、日常のことばと身ぶりによる笑いの芸能です。能楽の一部として、能とともに受けつがれてきました。

ポイント

- 体験してみると、大げさな動きにも、実は細かい決まりがあることに気づきます。

書いて覚えよう

地域によるちがい・昔と今をくらべよう

狂言の流派によるちがいや、時代による変化を知ろう。

流派によるちがい

大蔵流と和泉流など

せりふの言い回し

流派によって少しちがう

伝わる地域

家によって活動地域がちがう

昔と今

変わったこと・変わらないこと

昔は寺社や武家での上演が中心

今はホールでも上演される

笑いのテーマ

今も身近な失敗が題材になる

ポイント

- 流派によって、同じ演目でも細かい演出がちがいます。
- 舞台は変わっても、日常を笑いに変える精神は今も変わりません。

書いて覚えよう

よくある疑問

狂言についての素朴な疑問に答えよう。



Emma

狂言って、能とセットで見ることが多いの？



Ken

うん、同じ舞台で能と狂言が交互に上演されることがよくあるんだよ。



Emma

狂言のせりふって、昔のことばで難しくないの？



Ken

能よりずっと話し言葉に近いから、初めてでも意外と分かりやすいんだ。

ポイント

- 狂言は、能楽堂だけでなく、学校の芸術鑑賞会などでも上演されることがあります。
- 疑問に思ったことを調べると、狂言への理解がさらに深まります。

書いて覚えよう

マナーと注意点

狂言を見に行くときのマナーを知ろう。

ポイント

- 笑ってよい場面では、声を出して笑ってかまいません。
- 上演中の私語や飲食は控え、拍手のタイミングは周りに合わせましょう。
- 写真や動画の撮影は、禁止されていることがほとんどです。

ワンポイント 初めて見るときは、あらすじを簡単に予習しておくのと、笑いどころが分かりやすくなります。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

人物の言葉

☐ 太郎冠者

主人に仕える使用人

☐ すっぱ

詐欺師やうそつき

☐ 山伏

修行者

ことばの言葉

☐ やるまいぞ

逃がさないぞ、という意味

☐ これはこのあたりの者でござる

自己紹介の定番のせりふ

☐ こっけい

おかしくて笑いをさそうこと

演目の言葉

☐ 附子

毒だと言われた砂糖をめぐる話

☐ 棒縛り

縛られたまま酒を飲む話

☐ 柿山伏

柿を盗み食した山伏の話

流派の言葉

☐ 大蔵流

代表的な流派の1つ

☐ 和泉流

代表的な流派の1つ

☐ 狂言師

狂言を演じる人

書いて覚えよう

● オ. 主人に仕える使用人

ふり返りチェック・家族や友だちに話してみよう

学んだことを確認し、人に伝えてみよう。

- | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|
| ☐ | 狂言と能のちがいを説明できる | 重々しさと笑い |
| ☐ | 太郎冠者がどんな役か言える | 主人に仕える使用人 |
| ☐ | 狂言の決まり文句を1つ言える | これはこのあたりの者でござる |
| ☐ | 有名な演目を1つ紹介できる | 附子・棒縛りなど |
| ☐ | 狂言のことばを3つ言える | 用語の力 |

やってみよう

1. 狂言について、家族や友だちに説明してみよう。うまく伝わったか、感想を書こう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう・もっと知りたい人へ

狂言を英語で紹介し、次の学びにつなげよう。

Kyogen

キョウゲン

日本の伝統的な喜劇

comedy

コメディ

笑いを目的とした芝居

英語で説明してみよう

Kyogen is a traditional Japanese comic theater performed with Noh. (狂言は、能とともに上演される日本の伝統的な喜劇です。)

もっと知りたい人へ

狂言の公演

太郎冠者の絵本

狂言の体験教室

図書館や公演情報から、さらに学びを広げてみましょう。

書いて覚えよう

狂言チャレンジ

教室の外でも、狂言の世界にふれてみよう。

見つけよう

狂言が上演される場所や公演を調べる

聴こう

狂言の決まり文句や音源を聴いてみる

伝えよう

狂言の魅力をだれかに話してみる

こたえ

L28 太郎冠者→オ 附子→エ 棒縛り→ア やるまいぞ→イ すっぱ→ウ
2. 能楽 3. 太郎冠者

L33 (例) 狂言は、日常のことばと身ぶりによる、笑いの伝統芸能。

書いて覚えよう

狂言 (Season 4 | No.32)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。